



徳島県の「薬剤師職」について教えて！

徳島県の「薬剤師職」ならではの魅力は何ですか？

薬事・環境・食品関連の許可や監視といった行政分野や、各種検査・研究、さらには「病院薬剤師」としての勤務もあり、多岐にわたる分野を担当しています。さまざまな経験をして、自分に適した分野を見つけることができます。

行政分野では県民が望む安全・安心の確保を行い、病院では県民の健康保持のため安全で良質な医療を提供する、とてもやりがいのある仕事をしています。

人事異動について教えてください。

主に、保健所、保健製薬環境センター、県立病院に配属されます。このほか、万代庁舎の薬事部門、環境部門、食品部門などへの配属もあります。人事異動サイクルは2～4年が基本ですが、希望等によってはさらに長くなる場合もあります。

なお、人事異動については、必ずしも希望どおりになるとは限りませんが、異動先の希望を伝える機会を設けています。

給与について教えてください。

病院や保健所等で勤務する場合、初任給は月額246,800円(大学6卒)です。

職務内容によっては、月額8,000円程度の加算がある場合があります。

研修体制や資格取得支援、研究発表等の取組はありますか？

他県で開催される専門研修や、国立保健医療科学院などの公衆衛生専門機関での研修会に参加することができます。

また、研究発表では、それぞれ担当する業務について所属する学会などで発表をしています。

病院においては、若手職員に対して、専門・認定薬剤師を取得するためのバックアップを行っています。

もっと「薬剤師職」について知りたい！

徳島県職員採用ホームページでも、職務の内容や先輩職員の声を紹介しています！

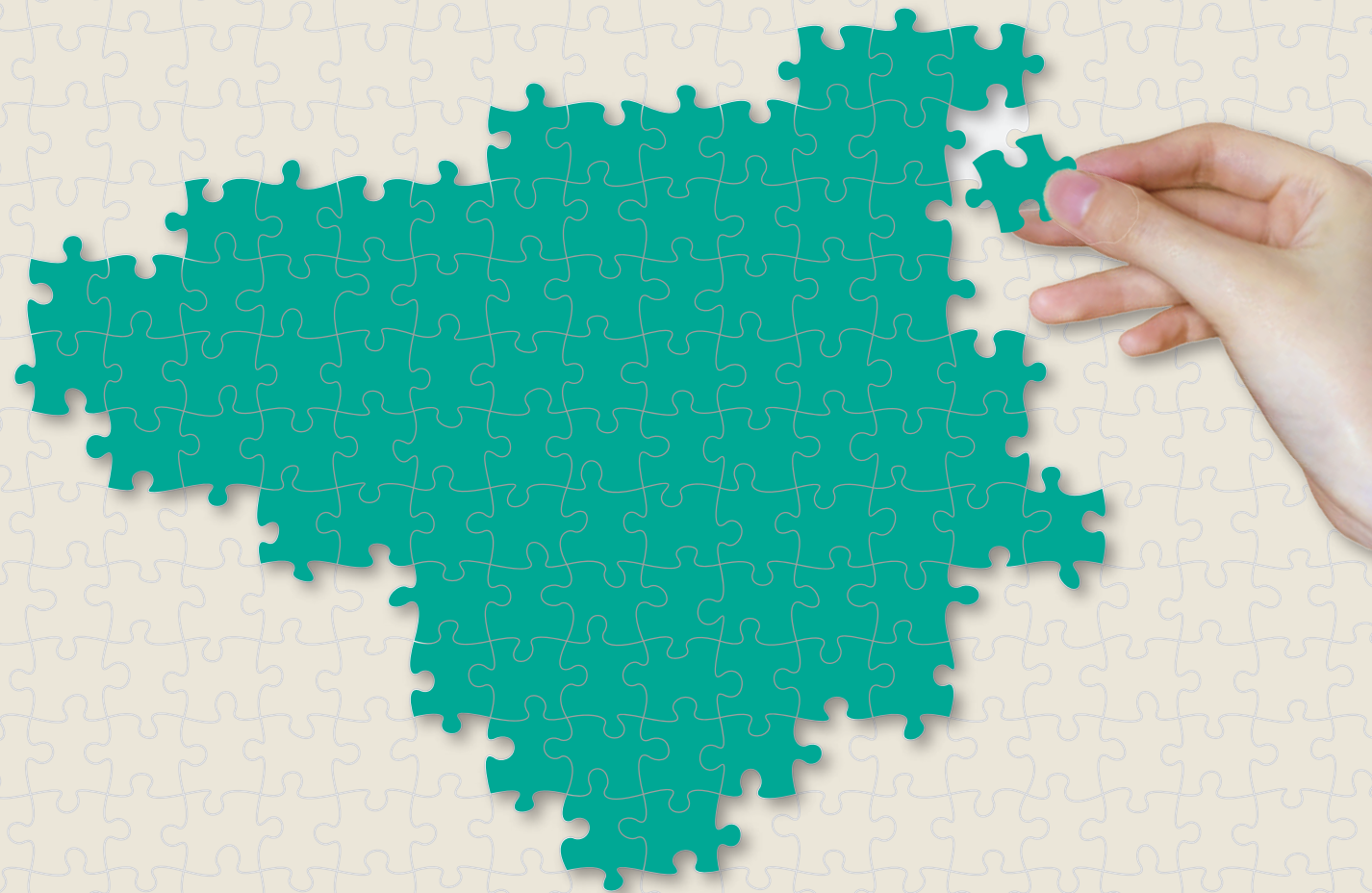


TOKUSHIMA

職員採用案内



薬剤師職



薬剤師職の
業務に関する問合せ

徳島県保健福祉部保健福祉政策課
〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地 徳島県庁2階
TEL.088-621-2172 FAX.088-621-2839
✉ hokenfukushiseisakuka@pref.tokushima.lg.jp

採用に関する
情報・問合せ

徳島県職員
採用ホームページ
<https://www.pref.tokushima.lg.jp/saiyou/>



徳島県企画総務部人事課
〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地 徳島県庁3階
TEL.088-621-2358 FAX.088-621-2825
✉ jinjika@pref.tokushima.lg.jp

SNSでも
情報発信中！



 徳島県

※ 掲載内容は、令和6年1月現在のものです。

▼ 監査業務の様子

薬務課

臨床現場とは異なる立場で専門知識や経験を活かし、徳島県に貢献できる

薬務課は、県民の皆様の健康と安全を守るために、2つの担当で業務に取り組んでいます。薬事審査・監視担当は、薬局や医薬品等製造業等の許可及び監視指導業務並びに災害時に必要な医薬品の備蓄・供給業務を行っています。血液・麻薬担当では、献血の普及啓発及び後発医薬品の使用促進等の推進事業並びに薬物乱用に関する法律に基づく事務、取締り業務及び薬物乱用防止活動等の啓発活動を行っています。

職員の大多数が薬剤師であり、薬剤師として学んだ専門知識や経験を活かして業務を遂行し、薬局や病院といった臨床現場とは異なる立場で徳島県に貢献できる職場です。



近藤 友宏 / Kondo Tomohiro

薬務課 主任主事
令和2年度入庁

〔所属歴〕 ●令和2年度：南部総合県民局保健福祉環境部＜阿南＞
●令和5年度：薬務課

INTERVIEW 01

医薬品の品質や安全性の向上に寄与できることに大きなやりがいを感じる

現在は、薬事審査・監視担当として医薬品製造業や薬局等の監視指導を行っています。医薬品製造業の監視では、製造所が製造管理・品質管理を法令に基づき実施できているか調査及び指導を行います。徳島県は製薬県と言われるほど医薬品製造所が多く、全国上位の医薬品生産額を誇ります。そのため、責任が大きく大変なこともあります。が、医薬品の品質や安全性の向上に寄与することに大きなやりがいを感じています。

薬剤師といえば調剤をイメージする方が多いと思いますが、公務員薬剤師は、今回紹介した業務以外にも幅広い業務に携わり、他職種と連携して県民の皆様の日常を支えています。是非一緒に働いてみませんか。



▼ ハイボリウムエアサンプラーでのサンプリング

※ 掲載内容は、令和6年1月現在のものです。

保健製薬環境センター

薬剤師として保健科学、製薬食品、環境保全に関する検査・試験研究を実施

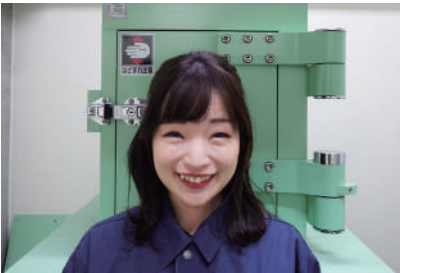
保健製薬環境センターでは、4つの担当が様々な検査や試験研究を行っており、薬剤師は全ての担当に配置されています。保健科学担当は、感染症や食中毒の原因微生物検査、感染症の発生動向について情報発信などを行っています。製薬食品担当は、医薬品等の製造販売承認審査や、食品中の残留農薬等の検査を行っています。また、薬用植物園を一般公開し、正しい知識の普及にも注力しています。水質環境担当は、河川、海域、地下水、工場排水、産業廃棄物最終処分場からの放流水等の水質検査を行っています。大気環境担当は、ばい煙やアスベストの検査、PM2.5等による大気汚染状況の監視、航空機や自動車の騒音、酸性雨、環境中の放射性物質の調査を行っています。

INTERVIEW 03

徳島県の美しい環境を次世代に繋いでいくために

現在、私は環境中における放射性物質の分析を担当しています。放射性物質とは「放射線」を放出する物質のことで、放射線を大量に受けると健康や環境に様々な影響が出ます。分析を通して、人工放射性物質が検出されていないか確認したり、平時の放射性物質の状況についてデータを集めたりしています。

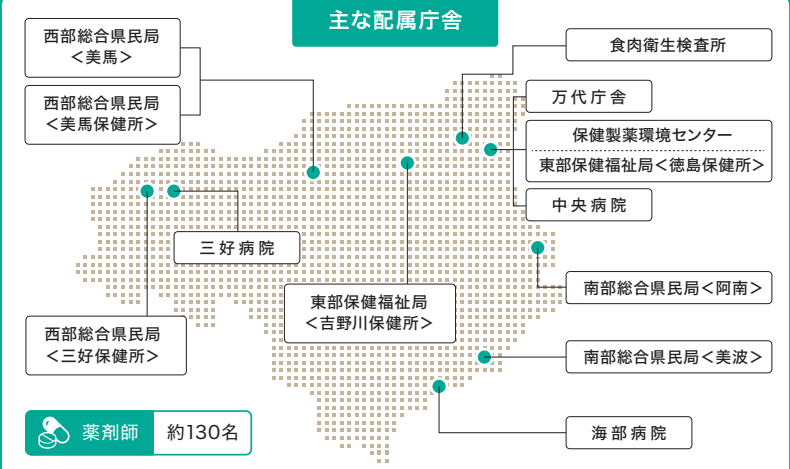
他にも大気環境担当では、大気に関する検査や試験研究を行っています。私たちが出した検査結果を基に、事業者等に対して行政指導や行政処分が行われることがあるため、業務には大きな責任が伴いますが、「徳島県の美しい環境を次世代に繋いでいく」その一端を担える点にやりがいを感じています。



矢達 綾那 / Yadatsu Ayana

保健製薬環境センター 主任研究員
平成28年度入庁

〔所属歴〕 ●平成28年度：東部保健福祉局＜吉野川保健所＞
●令和元年度：南部総合県民局保健福祉環境部＜阿南＞
●令和5年度：保健製薬環境センター



INTERVIEW 02

専門知識を活かして県民生活を守る

現在、私は飲食店、食品製造業、給食施設など、食品による健康被害リスクの高い施設に対しての衛生指導や、薬物乱用防止の普及啓発、水質汚濁防止法等の届出・相談など、食品・薬事・環境に関連する業務を幅広く担当しています。

これらの業務は県民生活に直結しており、地域で話題となることも多いため、責任の大きい仕事と覚悟することもあります。大学で学んだ知識がいつも役に立っており、やりがいを持って取り組んでいます。また、様々な職種や年代の方と関わり、共に働くことで、自分の知識と経験を深め、広い視野を持って仕事ができることも魅力だと感じています。



中西 淳治 / Nakanishi Junji

東部保健福祉局＜吉野川保健所＞ 係長
平成20年度入庁

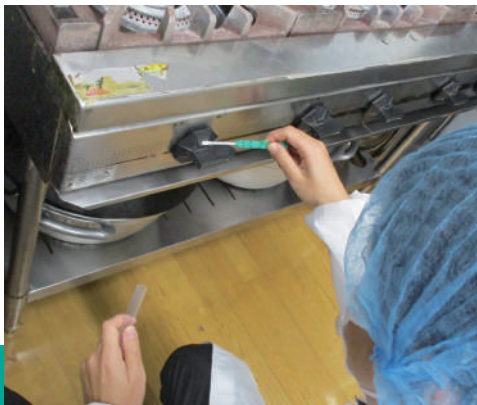
〔所属歴〕 ●平成20年度：西部総合県民局保健福祉環境部＜三好＞
●平成22年度：中央病院
●平成25年度：保健製薬環境センター
●平成30年度：薬務課
●令和3年度：環境管理課
●令和5年度：東部保健福祉局＜吉野川保健所＞

多職種のプロフェッショナルが連携し地域の健康に貢献

吉野川保健所は、医療企画、生活衛生、健康増進の3つの担当で構成され、吉野川市と阿波市を管轄しています。当保健所には、薬剤師をはじめ医師、獣医師、保健師、管理栄養士、行政事務など、多岐にわたる職種のプロフェッショナルが配属され、連携して地域の健康に貢献しています。保健所の使命は、疾病の予防、衛生の向上、地域住民の健康の保持・増進です。そのために、食品・薬事・環境衛生に関する監視指導や、結核などの感染症発生予防対策、難病や精神疾患に関する相談や対策など、専門性の高い業務を幅広く行っています。地域社会との協力を大切に、住民の健康を守り、生涯を通じて安心な生活を送ることができるよう、日々業務に取り組んでいます。

東部保健福祉局＜吉野川保健所＞

※ 掲載内容は、令和6年1月現在のものです。



▲ 給食施設でのATPふき取り検査



▲ 薬剤師外来での面談

「県民医療の最後の砦となる」ことを基本理念に、県民に親しまれ、信頼される病院となるよう努める

県立病院は、24時間365日休まない医療を県民に提供し続けています。「県民に支えられた病院として、県民医療の最後の砦となる」を基本理念として、県民に親しまれ、信頼される病院となるよう、すべての職種が日々の業務を懸命に行っています。病院薬剤師の業務は、処方箋に基づく各種調剤、抗がん剤をはじめとする注射薬の無菌調製、病棟薬剤業務、医療チームへの参加などです。医師への疑義照会や薬剤情報提供、病棟での看護師をはじめとする他職種との連携など、コミュニケーションを大切に、また、新薬をはじめとする薬物治療に対する知識のブラッシュアップを重ね、患者様に安全で有効な薬物療法を提供し続けます。

中央病院薬剤局



野田 理絵 / Noda Rie

中央病院薬剤局 医療技術企画員
平成7年度入庁

〔所属歴〕 ●平成7年度：中央病院
●令和2年度：三好病院
●令和6年度：中央病院